

MRの先輩に聞く

塩野義製薬 岩松慎一郎さん

塩野義製薬の岩松慎一郎さんは、大阪府内の大学病院を担当するキャリア3年目の薬学部出身MRだ。塩野義製薬の営業部門は、上司や先輩との意見

交換がしやすい職場環境が大きな特徴の1つで、岩松さんも恵まれた環境の中で、「やる気」と「やりがい」を持って、日々のMR活動に励んでいる。

「やる気」と「やりがい」

岩松さんは、1982年生まれの26歳。帝京大学薬学部時代には、生化学の研究室に所属していた。「大学3年時に、大学院へ進もうと思っていたが、研究室の院生から、製薬会社には医師に医薬品情報を伝えるMRという仕事があると聞いたことが、MRになるきっかけになった」と振り返る。

大学のクラブ活動ではサッカー部に所属。社交的で機動力に富んだ岩松さんの就職活動では、いろいろな製薬企業を訪問。中でも塩野義製薬に好印象を持った。「塩野義の人事担当の方の説明が大変面白くて、質疑応答にも気さくに答えてもらえたから」というのがその理由。それに、入社後の教育研修体制が充実していることも、塩野義製薬を選んだ理由の1つになった。

MRとして活躍する現在、「他の理系や文系の人と一緒に営業活動をする毎日は非常に新鮮で、様々な方々と会えるMRの仕事は、自分にピッタリだ」と感じている。

「大学病院の先生方に様々な医薬品情報を提供して、治療の一助として適切に薬剤を使っているのがわれわれの使命」だと、MRとしての意気も盛んだ。

岩松さんが属する塩野義製薬第5学術部の長居分室(大阪市住吉区)営業チームは、学生時代にサッカー部で主将を務めたり、アメリカンフットボールの選手として活躍したメンバーや、薬学出身の女性も含め、入社5年目までの若手精鋭を中心に構成されている。

岩松さんの1日のスケジュールは、午前8時に担当の大学病院に入り、午前中は院内を巡回。正午には、営業チームのメンバーが病院近くのファミリーレストランに集合し、昼食を兼ねたミーティングを行う。ミーティン

グでは、「ベテランも新人も忌憚なく意見を言い合える環境にある」という。ミーティング後は、再びそれぞれの担当病院でMR活動をする。

MRの1日のスケジュールは、担当する医療機関によって異なる。開業医を担当するMRでは、午前11時から午後2時までがピークで、その合間に卸を訪問することも珍しくない。

塩野義製薬の新人MRは、入社後約5カ月間の研修後、全国各地の基幹病院担当チームに配属され、上司からの指導や先輩MRとの同行教育を通し、仕事を覚えていく。

MRとして3年目を迎え、担当する診療科も増え、仕事に脂が乗りはじめたところだが、「まだお会いする機会の少ない先生方に、どのように薬の説明を聞いていただくかが、課題になっている」という。

塩野義製薬は、メタボリックシンドローム領域、癌疼痛領域、抗菌薬領域を医療用医薬品の3本柱としている。中でもメタボリックシンドローム領域の高コレステロール血症治療薬「クレストール」、高血圧症治療薬「イルベタン」の情報提供活動は、「市場が大きく、競争も激しい分野なので、勉強しなければならないことが多い」

同社では、地域ごとの集合研修をほぼ月に1回行っている。大学病院を担当する岩松さんは、「先生に直接、自社製品の使用状況を聞けるので、MRの仕事をしなが、常に知識を得ることも心がけている」という。そうした日々の研鑽の積み重ねが、医師との人間

様々な人との出会いが新鮮



関係構築をアシストし、「仕事のできるMR」へとつながっていくわけだ。

人間関係の構築を苦勞の1つに挙げるMRも多いが、「仕事に対する熱意が伝われば、自然に人間関係もできていく」と自信を示す。「当社の新しい抗生物質(フィニバックス)の特徴を説明して、先生から『君の紹介してくれた薬がよく効いたよ』と、褒め言葉をいただいた時、この仕事をやって本当によかったと感じた」と、やりがいにもつながっている。それに、「自分の会社の製品が、患者さんに役立っていることが、何よりうれしい」とも。MRが直接患者と話をすることは少ないが、同社の癌疼痛治療薬「オキシコンチン」などを通して、実感しているという。

塩野義製薬には、「トレース」という独自のMR手法がある。トレースは、薬剤使用後の患者病態や効果、副作用に関する情報を、医師とディスカッションし、その後の情報提供活動や新薬の開発に役立てるもので、より効果的なMR活動の実践に寄与している。

岩松さんは薬学部出身のMRだが、そのメリットとして、「大学で薬理学や病態学などを学んでいるので、先生と自社の製品以外の医学的な話にもスムーズに対応しやすい」ことを挙げる。

井の中の蛙からの脱却を

MRとして3年目を迎えた経験を通して、就職活動に入る薬学部の後輩へ、岩松さんは「MRや病院薬剤師などと分野を限るのではなく、様々な職種を見てほしい。どの職種も、自分の想像とは違う側面を見つけることができると思う。その上で、どの職業に就くか決めても決して遅くはない」とアドバイスを送っている。

医薬品

あなたの痛みに合わせて
選べるセデスです。

新セデス錠

ACE処方が胃にやさしい
頭痛・歯痛・生理痛に

容量: 20錠・40錠

セデス・ハイ

インプロピルアンチピリン
つらい痛み

容量: 10錠・20錠

セデスV

ビタミンB1配合
頭痛・肩こり痛・熱に

容量: 10錠・30錠

セデスキュア

小児の
イブプロフェン
生理痛・腰痛に

容量: 6錠・18錠・30錠

痛くなったら、
すぐセデス。

これらの医薬品の「使用上の注意」をよく読んでお使い下さい。特にアレルギー体質の方は服用前に医師や薬剤師等にご相談下さい。

お問い合わせ先: シオノギ製薬医薬品情報センター 大阪06-6209-6948 東京03-3406-8450
http://www.shionogi.co.jp/wellness/medicine/ ©登録商標 2007.11作成

シオノギ製薬

「スペシャリティーファーマ」を目指して。

当社は、日本薬局方が制定された翌年の1888年(明治21年)に、日本薬局方医薬品メーカーとして創業いたしました。以来、堅実経営を旨とし、医薬品の研究・開発・製造・販売を通じて、医療の発展に寄与し、健康と福祉に貢献できるよう努力しております。

会社概要

- 創立 昭和11年11月5日(創業明治21年)
- 資本金 2億8500万円
- 事業所 本社・津工場・中央研究所
- 社員数 500人
- 事業内容 日本薬局方医薬品その他各種医薬品等の製造販売

募集要項

- 募集職種 MR
- 初任給 大卒:215,000円
修士:233,600円
- 賞与 年1回(7月)
- 休日・休暇 完全週休2日制(土・日・祝)
- その他 社保関係完備



丸石製薬株式会社

*詳しくはホームページをご覧ください。以下までお問合せ下さい。
マルチホームページ <http://www.maruishi-pharm.co.jp/>
お問合せ電話番号:06-6964-3100 人事・総務部 採用担当